

2019年度決算報告をお届けするにあたって

東京神学大学 財務理事 長山信夫
(安藤記念教会 牧師)

決算報告を皆様にお届けするにあたり、本学の使命である伝道者養成にいつもご支援くださる諸教会、兄弟姉妹の皆様に心から感謝申し上げます。

激動の年でした。学長大住雄一先生が9月6日急逝されました。台風15号が首都圏を襲う中9日の葬儀には多くの方々が東京神学大学礼拝堂に集いました。

ハラスメント問題特設委員会が設置され、調査は弁護士の方々に委ねられました。公平、公正でなければならないというのが大住学長の考えであったと思います。綿密な調査が実施され、費用は最終的には約1500万円と予想を大きく超える額でした。決算書管理経費支出にそれが含まれています。それでも予算を1860万円余削減できたことは感謝です。

また、運転資金である第4号基本金は保持すべき2600万円計上することができました。運営は決して楽ではありませんが、学校当局の努力によって支出を抑えていることを伝えたく思います。

60年になろうとしていた木造の教員住宅が経費節減もあり、コンクリート2階建て長屋住宅に生まれ変わりました。現在学生寮建設が進んでいます。

諸教会兄弟姉妹がたの尊いささげものに心から感謝いたします。東京神学大学の健全な運営と、明日の伝道者である神学生の養成のために、なお引き続き祈り、献身者を送り、お献げいただきたくお願い申し上げます。